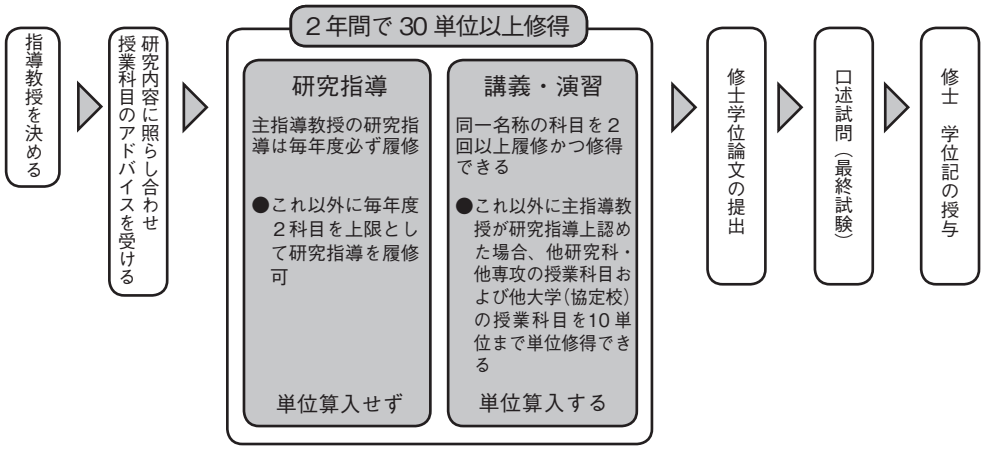
Ⅲ　専攻別教育課程表

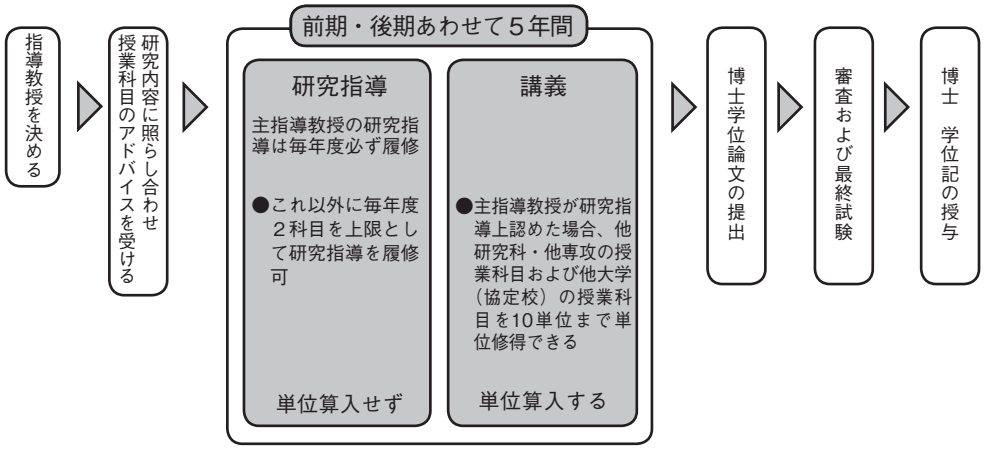
〔文 学 研 究 科〕

哲　学　専　攻

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



哲 学 専 攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
哲学特論	講義	4	非常勤講師	山口祐弘	
哲学演習	演習	4	教授	山口一郎	哲学研究指導Ⅳと共通
古代中世哲学研究	講義	4			本年度休講
古代中世哲学演習	演習	4	非常勤講師	矢内義顕	
近世哲学研究	講義	4	教授	長島隆	哲学研究指導Ⅵと共通
近世哲学演習Ⅰ	演習	4	非常勤講師	土屋俊	
近世哲学演習Ⅱ	演習	4	教授	村上勝三	哲学研究指導Ⅴと共通
現代哲学研究	講義	4	非常勤講師	カリン山口	
現代哲学演習Ⅰ	演習	4	教授	永井晋	哲学研究指導Ⅲと共通
現代哲学演習Ⅱ	演習	4			本年度休講
論理学特論	講義	4	非常勤講師	金沢誠	
倫理学特論	講義	4	教授	中里巧	哲学研究指導Ⅰと共通
比較哲学特論	講義	4	教授	相楽勉	哲学研究指導Ⅱと共通
印度哲学特論	講義	4	非常勤講師(兼担)	松村淳子	
中国哲学研究	講義	4			本年度休講
日本哲学特論	講義	4			本年度休講
日本哲学演習	演習	4			本年度休講
現代哲学特殊演習①	演習	2	非常勤講師	加藤敏	集中講義（後期開講）
現代哲学特殊演習②	演習	2	非常勤講師	黒田昭信	集中講義（前期開講）
実践哲学特論	講義	4	非常勤講師	内海健	
哲学研究指導Ⅰ			教授	中里巧	
哲学研究指導Ⅱ			教授	相楽勉	
哲学研究指導Ⅲ			教授	永井晋	
哲学研究指導Ⅳ			教授	山口一郎	
哲学研究指導Ⅴ			教授	村上勝三	
哲学研究指導Ⅵ			教授	長島隆	
哲学研究指導Ⅶ					本年度休講
哲学研究指導Ⅷ			教授	河本英夫	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

4．「演習」または「講義」は、同一科目を在学中２回以上履修・単位修得することができる。修得した単位は、修了要件の単位に充当する。

5．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
哲学特殊研究Ⅰ	講義	4			本年度休講
哲学特殊研究Ⅱ	講義	4	教授	中里　巧	哲学研究指導Ⅱと共通
哲学特殊研究Ⅲ	講義	4	教授	長島　隆	哲学研究指導Ⅲと共通
哲学特殊研究Ⅳ	講義	4	教授	山口一郎	哲学研究指導Ⅳと共通
哲学特殊研究Ⅴ	講義	4	教授	村上勝三	哲学研究指導Ⅴと共通
哲学特殊研究Ⅵ	講義	4	非常勤講師	山口祐弘	
哲学特殊研究Ⅶ	講義	4	教授	永井　晋	哲学研究指導Ⅵと共通
哲学特殊研究Ⅷ	講義	4			本年度休講
哲学研究指導Ⅰ			教授	河本英夫	
哲学研究指導Ⅱ			教授	中里　巧	
哲学研究指導Ⅲ			教授	長島　隆	
哲学研究指導Ⅳ			教授	山口一郎	
哲学研究指導Ⅴ			教授	村上勝三	
哲学研究指導Ⅵ			教授	永井　晋	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。

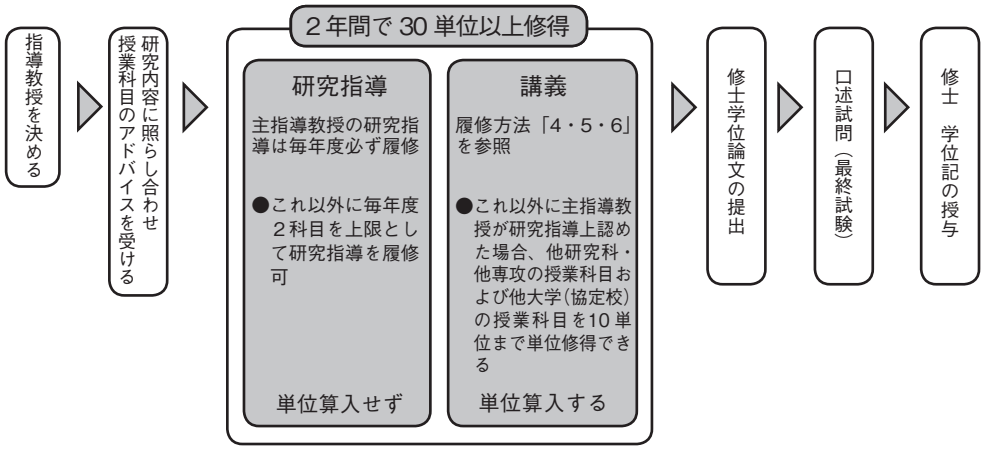
3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。

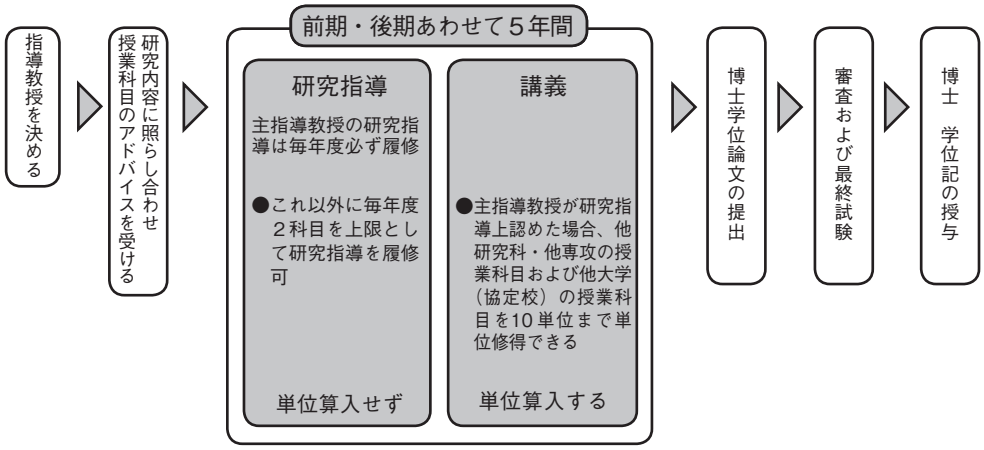
インド哲学仏教学専攻

仏教学専攻（2010年度入学生まで）

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



インド哲学仏教学専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
〔インド哲学領域〕					
サンスクリット文献研究Ⅰ	講義	4	教授	宮本久義	インド哲学研究指導Ⅰと共通
サンスクリット文献研究Ⅱ	講義	4	非常勤講師	丸井浩	
インド哲学研究Ⅰ	講義	4	非常勤講師	デレアヌ・フロリン	
インド哲学研究Ⅱ	講義	4	教授	橋本泰元	インド哲学研究指導Ⅲと共通
インド哲学研究Ⅲ	講義	4	非常勤講師	永ノ尾信悟	
〔インド仏教領域〕					
初期仏教研究Ⅰ	講義	4			本年度休講
初期仏教研究Ⅱ	講義	4	非常勤講師	松村淳子	
大乗仏教研究Ⅰ	講義	4	教授	渡辺章悟	仏教学研究指導Ⅰと共通
大乗仏教研究Ⅱ	講義	4	教授	山口しのぶ	仏教学研究指導Ⅱと共通
大乗仏教研究Ⅲ	講義	4	非常勤講師	斎藤明	
〔中国・日本仏教領域〕					
漢文仏典研究Ⅰ	講義	4			本年度休講
漢文仏典研究Ⅱ	講義	4			本年度休講
中国仏教研究Ⅰ	講義	4	教授	伊吹敦	仏教学研究指導Ⅳと共通
中国仏教研究Ⅱ	講義	4			本年度休講
日本仏教研究Ⅰ	講義	4	教授	竹村牧男	仏教学研究指導Ⅲと共通
日本仏教研究Ⅱ	講義	4			本年度休講
インド哲学研究指導Ⅰ			教授	宮本久義	
インド哲学研究指導Ⅱ					本年度休講
インド哲学研究指導Ⅲ			教授	橋本泰元	
仏教学研究指導Ⅰ			教授	渡辺章悟	
仏教学研究指導Ⅱ			教授	山口しのぶ	
仏教学研究指導Ⅲ			教授	竹村牧男	
仏教学研究指導Ⅳ			教授	伊吹敦	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

4．主指導教授が担当する「講義」は、在学中**２回（８単位）**まで履修・単位修得することができる（「研究指導」と共通して開講されているもので、１科目のみが対象となる）。

5．上記４．以外の「講義」は、在学中**１回のみ**履修・単位修得（４単位）することができる。

6．在学中に、上記４．以外、「インド哲学領域」「インド仏教領域」「中国・日本仏教領域」から、それぞれ**１科目・合計12単位以上**を選択して履修・単位修得しなければならない。

7．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

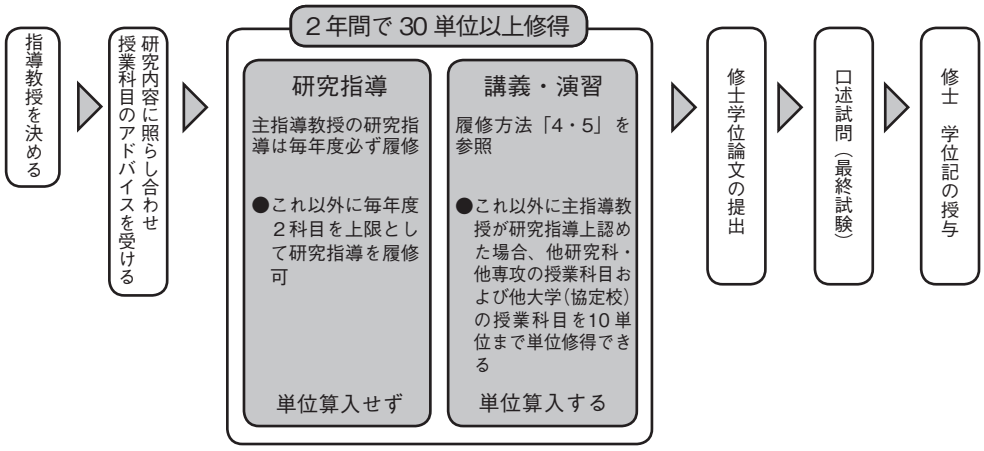
授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
〔インド哲学領域〕					
インド哲学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	宮本久義	インド哲学研究指導Ⅰと共通
インド哲学特殊研究Ⅱ	講　義	4	教　授	橋本泰元	インド哲学研究指導Ⅱと共通
インド哲学特殊研究Ⅲ	講　義	4			本年度休講
〔仏教学領域〕					
仏教学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	渡辺章悟	仏教学研究指導Ⅰと共通
仏教学特殊研究Ⅱ	講　義	4	教　授	山口しのぶ	仏教学研究指導Ⅱと共通
仏教学特殊研究Ⅲ	講　義	4	教　授	伊吹　敦	仏教学研究指導Ⅳと共通
仏教学特殊研究Ⅳ	講　義	4	教　授	竹村牧男	仏教学研究指導Ⅲと共通
インド哲学研究指導Ⅰ			教　授	宮本久義	
インド哲学研究指導Ⅱ			教　授	橋本泰元	
インド哲学研究指導Ⅲ					本年度休講
仏教学研究指導Ⅰ			教　授	渡辺章悟	
仏教学研究指導Ⅱ			教　授	山口しのぶ	
仏教学研究指導Ⅲ			教　授	竹村牧男	
仏教学研究指導Ⅳ			教　授	伊吹　敦	

履修方法

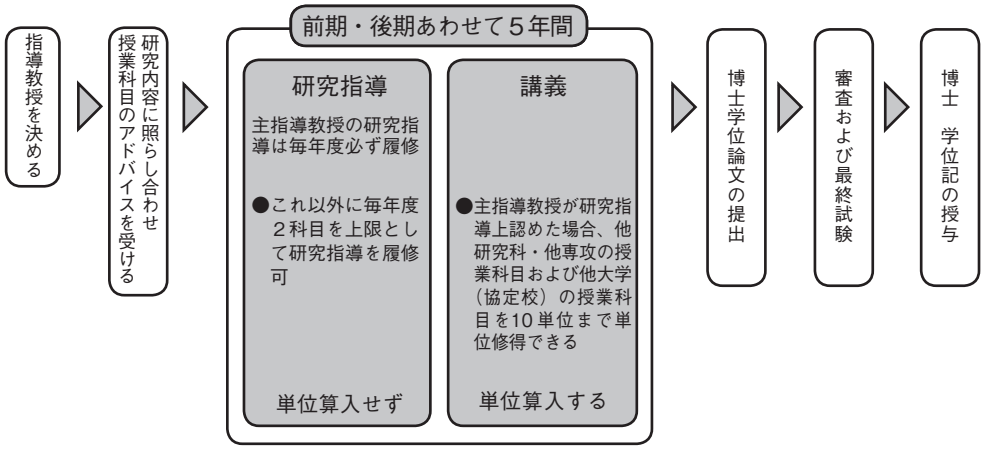
1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**
4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。

国 文 学 専 攻

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



国 文 学 専 攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
国文学特論Ⅰ	講義	4			本年度休講
国文学特論Ⅱ	講義	4	非常勤講師	山田吉郎	
国文学特論Ⅲ	講義	4	教授	千艘秋男	国文学研究指導Ⅸと共通
国文学特論Ⅳ	講義	4	非常勤講師	稲垣泰一	
国文学特論Ⅴ	講義	4	非常勤講師	上村正名	
国文学特論Ⅵ	講義	4			本年度休講
国語学特論Ⅰ	講義	4	非常勤講師	阿久澤忠	
国語学特論Ⅱ	講義	4			本年度休講
国文学演習Ⅰ	演習	4	教授	中山尚夫	国文学研究指導Ⅰと共通
国文学演習Ⅱ	演習	4	教授	髙城功夫	国文学研究指導Ⅱと共通
国文学演習Ⅲ	演習	4	教授	谷地快一	国文学研究指導Ⅲと共通
国文学演習Ⅳ	演習	4	教授	石田仁志	国文学研究指導Ⅳと共通
国文学演習Ⅴ	演習	4			本年度休講
国文学演習Ⅵ	演習	4	教授	河地修	国文学研究指導Ⅵと共通
国文学演習Ⅶ	演習	4	教授	山崎甲一	国文学研究指導Ⅶと共通
国文学演習Ⅷ	演習	4			本年度休講
国語学演習Ⅰ	演習	4			本年度休講
国語学演習Ⅱ	演習	4	教授	三宅和子	国語学研究指導Ⅱと共通
日本美術史	講義	4	非常勤講師	榊原悟	
比較文学	講義	4	教授（兼担）	有澤晶子	
中国文学特論	講義	4	教授（兼担）	野間信幸	
国文学研究指導Ⅰ			教授	中山尚夫	
国文学研究指導Ⅱ			教授	髙城功夫	
国文学研究指導Ⅲ			教授	谷地快一	
国文学研究指導Ⅳ			教授	石田仁志	
国文学研究指導Ⅴ					本年度休講
国文学研究指導Ⅵ			教授	河地修	
国文学研究指導Ⅶ			教授	山崎甲一	
国文学研究指導Ⅷ					本年度休講
国文学研究指導Ⅸ			教授	千艘秋男	
国語学研究指導Ⅰ					本年度休講
国語学研究指導Ⅱ			教授	三宅和子	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

4．主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、**在学中２回（８単位）まで**履修・単位修得することができる（「研究指導」と共通して開講されているもので、１科目のみが対象となる）。

5．上記４．以外の「演習」または「講義」は、在学中**１回のみ**履修・単位修得（４単位）することができる。

6．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
国文学特殊研究Ⅰ	講義	4			本年度休講
国文学特殊研究Ⅱ	講義	4	非常勤講師	山田吉郎	
国文学特殊研究Ⅲ	講義	4	教授	千艘秋男	国文学研究指導Ⅸと共通
国文学特殊研究Ⅳ	講義	4	非常勤講師	稲垣泰一	
国文学特殊研究Ⅴ	講義	4	非常勤講師	上村正名	
国文学特殊研究Ⅵ	講義	4			本年度休講
国文学特殊研究Ⅶ	講義	4	教授	中山尚夫	国文学研究指導Ⅰと共通
国文学特殊研究Ⅷ	講義	4	教授	高城功夫	国文学研究指導Ⅱと共通
国文学特殊研究Ⅸ	講義	4	教授	谷地快一	国文学研究指導Ⅲと共通
国文学特殊研究Ⅹ	講義	4	教授	石田仁志	国文学研究指導Ⅳと共通
国文学特殊研究Ⅺ	講義	4			本年度休講
国文学特殊研究Ⅻ	講義	4	教授	河地修	国文学研究指導Ⅵと共通
国文学特殊研究ⅩⅢ	講義	4	教授	山崎甲一	国文学研究指導Ⅶと共通
国文学特殊研究ⅩⅣ	講義	4			本年度休講
国語学特殊研究Ⅰ	講義	4	非常勤講師	阿久澤忠	
国語学特殊研究Ⅱ	講義	4			本年度休講
国語学特殊研究Ⅲ	講義	4			本年度休講
国語学特殊研究Ⅳ	講義	4	教授	三宅和子	国語学研究指導Ⅱと共通
国文学研究指導Ⅰ			教授	中山尚夫	
国文学研究指導Ⅱ			教授	高城功夫	
国文学研究指導Ⅲ			教授	谷地快一	
国文学研究指導Ⅳ			教授	石田仁志	
国文学研究指導Ⅴ					本年度休講
国文学研究指導Ⅵ			教授	河地修	
国文学研究指導Ⅶ			教授	山崎甲一	
国文学研究指導Ⅷ			教授	菊地義裕	
国文学研究指導Ⅸ			教授	千艘秋男	
国語学研究指導Ⅰ					本年度休講
国語学研究指導Ⅱ			教授	三宅和子	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

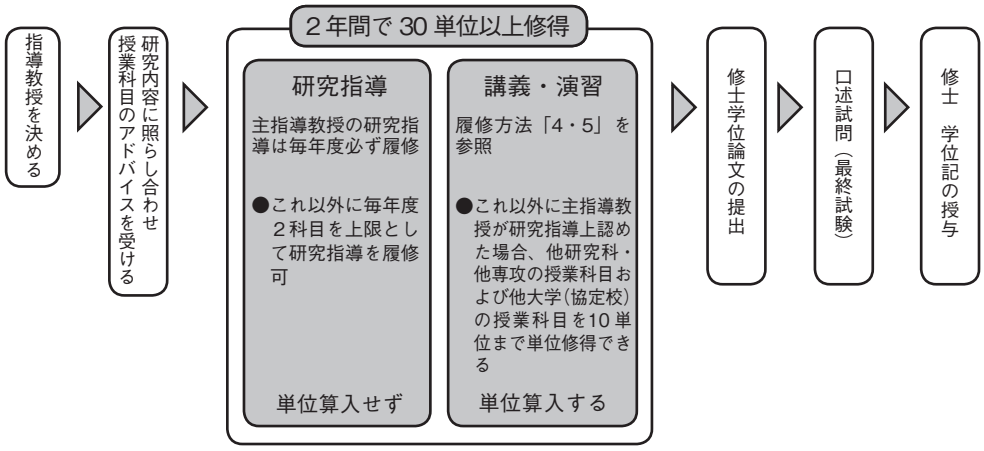
2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

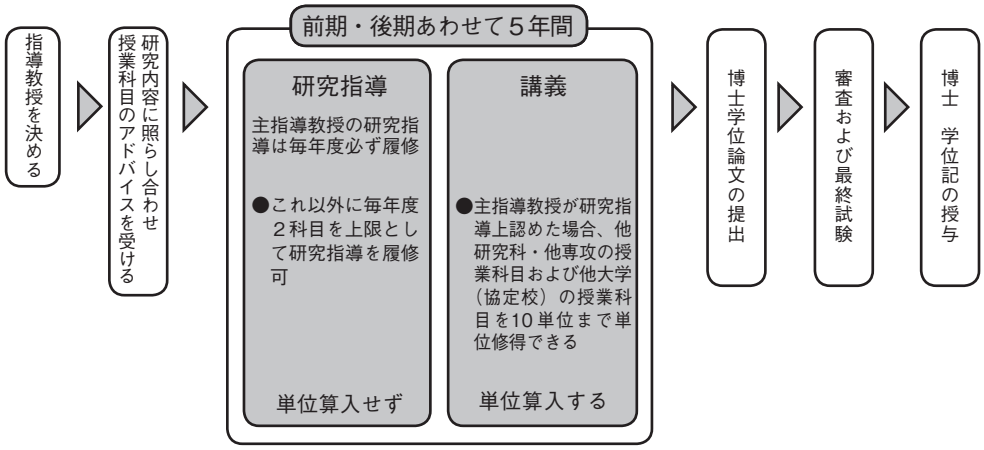
4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。

中国哲学専攻

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



中国哲学専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
中国哲学特論Ⅰ①	講義	2	非常勤講師	野間文史	集中講義（前期開講）
中国哲学特論Ⅰ②	講義	2	非常勤講師	野口善敬	集中講義（後期開講）
中国哲学特論Ⅱ	講義	4	教授	吉田公平	
中国哲学特論Ⅲ	講義	4	教授	小路口聡	
中国哲学演習Ⅰ	演習	4	教授	山田利明	中国哲学研究指導Ⅳと共通
中国哲学演習Ⅱ	演習	4	教授	小路口聡	中国哲学研究指導Ⅲと共通
中国哲学演習Ⅲ	演習	4	教授	吉田公平	中国哲学研究指導Ⅴと共通
中国哲学研究Ⅰ	講義	4	教授	山田利明	
中国哲学研究Ⅱ	講義	4			本年度休講
中国哲学研究Ⅲ	講義	4	教授	吉田公平	
中国文学特論Ⅰ	講義	4	教授	野間信幸	中国哲学研究指導Ⅱと共通
中国文学特論Ⅱ	講義	4	准教授	坂井多穂子	
中国文学演習Ⅰ	演習	4	教授	有澤晶子	
中国文学演習Ⅱ	演習	4	非常勤講師	竹下悦子	
中国語学研究Ⅰ	講義	4			本年度休講
中国語学研究Ⅱ	講義	4			本年度休講
哲学特論	講義	4	非常勤講師(兼担)	山口祐弘	
比較哲学特論	講義	4	教授（兼担）	相楽勉	
仏教学特論	講義	4			本年度休講
東洋史学特論	講義	4	教授（兼担）	高橋継男	
文献研究（東洋）	講義	4	非常勤講師	大澤正昭	
中国哲学研究指導Ⅰ					本年度休講
中国哲学研究指導Ⅱ			教授	野間信幸	
中国哲学研究指導Ⅲ			教授	小路口聡	
中国哲学研究指導Ⅳ			教授	山田利明	
中国哲学研究指導Ⅴ			教授	吉田公平	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

4．主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中**２回（８単位）まで**履修・単位修得することができる（「研究指導」と共通して開講されているもので、１科目のみが対象となる）。

5．上記４．以外の「演習」または「講義」は、在学中**１回のみ**履修・単位修得（４単位）することができる。

6．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
中国哲学特殊研究Ⅰ	講義	4	教授	野間信幸	中国哲学研究指導Ⅰと共通
中国哲学特殊研究Ⅱ	講義	4	教授	吉田公平	中国哲学研究指導Ⅱと共通
中国哲学特殊研究Ⅲ	講義	4	教授	小路口聡	中国哲学研究指導Ⅲと共通
中国哲学特殊研究Ⅳ	講義	4			本年度休講
中国哲学特殊研究Ⅴ	講義	4	教授	山田利明	中国哲学研究指導Ⅴと共通
中国哲学研究指導Ⅰ			教授	野間信幸	
中国哲学研究指導Ⅱ			教授	吉田公平	
中国哲学研究指導Ⅲ			教授	小路口聡	
中国哲学研究指導Ⅳ					本年度休講
中国哲学研究指導Ⅴ			教授	山田利明	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

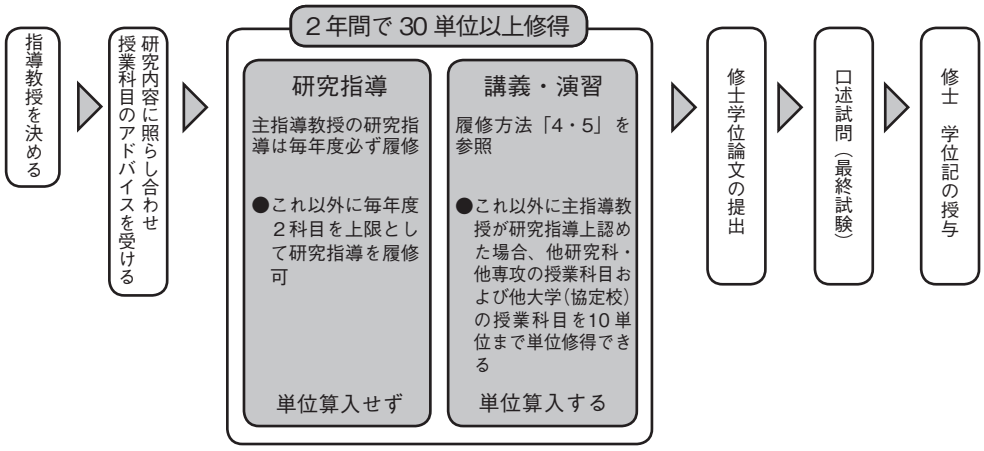
2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

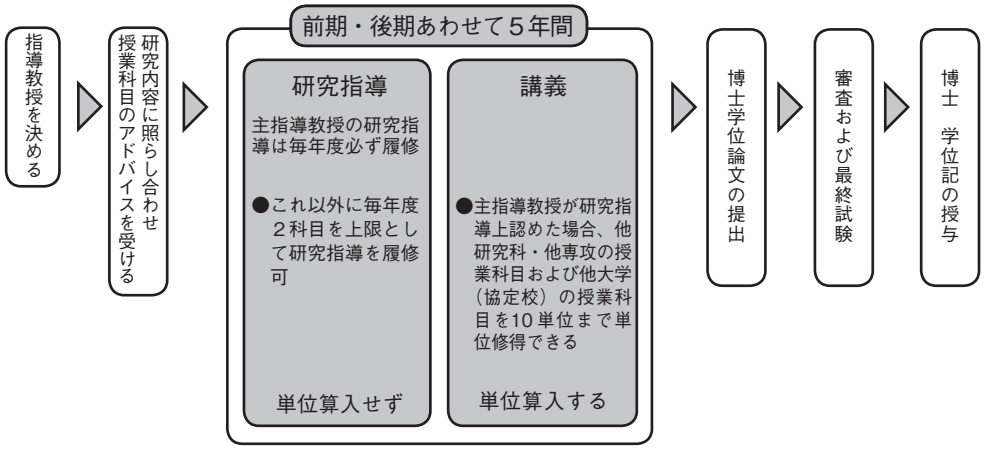
4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。

英 文 学 専 攻

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



英 文 学 専 攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
英文学演習Ⅰ	演習	4	教授	石和田昌利	英文学研究指導Ⅱと共通
英文学演習Ⅱ	演習	4	教授	齋藤九一	英文学研究指導Ⅰと共通
米文学演習	演習	4	教授	村山淳彦	米文学研究指導Ⅰと共通
比較文学演習	演習	4			本年度休講
英語学演習	演習	4	教授	埋橋勇三	英語学研究指導Ⅰと共通
英文学特論Ⅰ	講義	4	教授（兼担）	倉田雅美	
英文学特論Ⅱ	講義	4			本年度休講
英文学特論Ⅲ	講義	4			本年度休講
米文学特論	講義	4	教授	寺島照明	米文学研究指導Ⅱと共通
英語学特論Ⅰ	講義	4	教授	赤須薫	英語学研究指導Ⅱと共通
英語学特論Ⅱ	講義	4			本年度休講
英語学特論Ⅲ	講義	4			本年度休講
英米文学思想①	講義	4	教授	齋藤九一	
英米文学思想②	講義	4			本年度休講
英文学研究指導Ⅰ			教授	齋藤九一	
英文学研究指導Ⅱ			教授	石和田昌利	
米文学研究指導Ⅰ			教授	村山淳彦	
米文学研究指導Ⅱ			教授	寺島照明	
比較文学研究指導					本年度休講
英語学研究指導Ⅰ			教授	埋橋勇三	
英語学研究指導Ⅱ			教授	赤須薫	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

4．主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中**２回（８単位）まで**履修・単位修得することができる（「研究指導」と共通して開講されているもので、１科目のみが対象となる）。

5．上記４．以外の「演習」または「講義」は、在学中**１回のみ**履修・単位修得（４単位）することができる。

6．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
英文学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	齋藤九一	英文学研究指導Ⅰと共通
英文学特殊研究Ⅱ	講　義	4	教　授	石和田昌利	英文学研究指導Ⅱと共通
英文学特殊研究Ⅲ	講　義	4			本年度休講
米文学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	村山淳彦	米文学研究指導Ⅰと共通
米文学特殊研究Ⅱ	講　義	4	教　授	寺島照明	米文学研究指導Ⅱと共通
比較文学特殊研究	講　義	4			本年度休講
英語学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	埋橋勇三	英語学研究指導Ⅰと共通
英語学特殊研究Ⅱ	講　義	4	教　授	赤須　薫	英語学研究指導Ⅱと共通
英文学研究指導Ⅰ			教　授	齋藤九一	
英文学研究指導Ⅱ			教　授	石和田昌利	
米文学研究指導Ⅰ			教　授	村山淳彦	
米文学研究指導Ⅱ			教　授	寺島照明	
比較文学研究指導					本年度休講
英語学研究指導Ⅰ			教　授	埋橋勇三	
英語学研究指導Ⅱ			教　授	赤須　薫	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

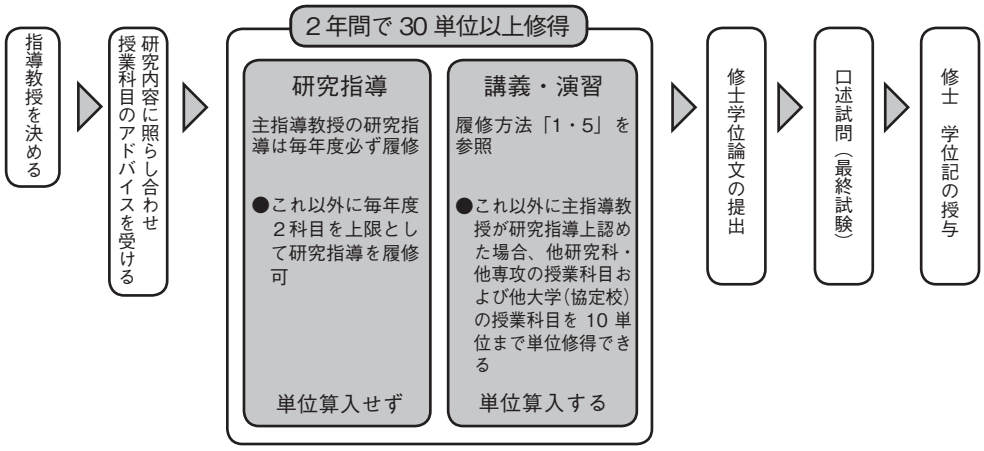
2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

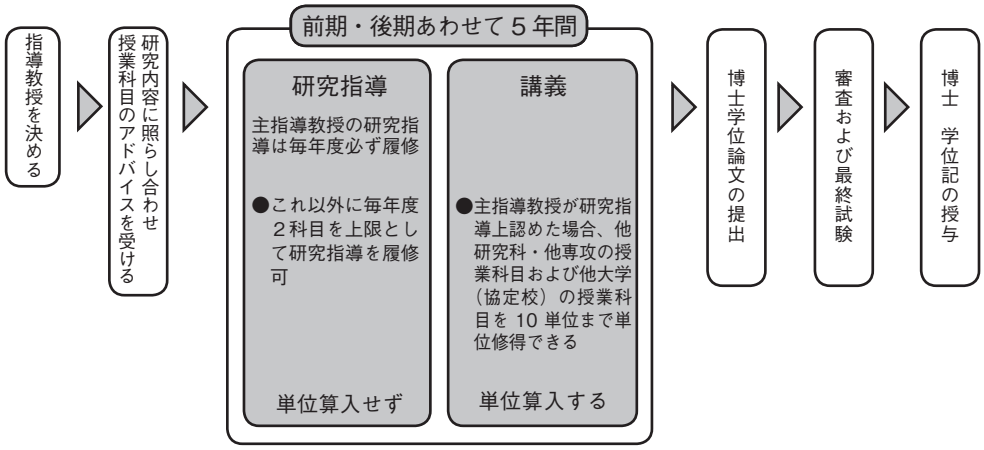
4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。

史　学　専　攻

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



史 学 専 攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
日本史学特論Ⅰ	講義	4	教授	森公章	
日本史学特論Ⅱ	講義	4	教授	神田千里	
日本史学特論Ⅲ	講義	4	教授	白川部達夫	
日本史学特論Ⅳ	講義	4			本年度休講
日本史学特論Ⅴ	講義	4	教授	大豆生田稔	
日本史学演習Ⅰ	演習	4	教授	森公章	日本史学研究指導Ⅰと共通
日本史学演習Ⅱ	演習	4	教授	神田千里	日本史学研究指導Ⅱと共通
日本史学演習Ⅲ	演習	4	教授	白川部達夫	日本史学研究指導Ⅲと共通
日本史学演習Ⅳ	演習	4			本年度休講
日本史学演習Ⅴ	演習	4	教授	大豆生田稔	日本史学研究指導Ⅴと共通
東洋史学特論Ⅰ	講義	4	教授	高橋継男	
東洋史学特論Ⅱ	講義	4	准教授	千葉正史	
東洋史学特論Ⅲ	講義	4			本年度休講
東洋史学演習Ⅰ	演習	4	教授	高橋継男	東洋史学研究指導Ⅰと共通
東洋史学演習Ⅱ	演習	4	准教授	千葉正史	東洋史学研究指導Ⅱと共通
東洋史学演習Ⅲ	演習	4			本年度休講
西洋史学特論Ⅰ	講義	4	教授	髙畠純夫	
西洋史学特論Ⅱ	講義	4			本年度休講
西洋史学特論Ⅲ	講義	4	教授	岡本充弘	
西洋史学演習Ⅰ	演習	4	教授	髙畠純夫	西洋史学研究指導Ⅰと共通
西洋史学演習Ⅱ	演習	4	非常勤講師	堀越宏一	
西洋史学演習Ⅲ	演習	4	教授	岡本充弘	西洋史学研究指導Ⅲと共通
考古学特論	講義	4	非常勤講師	土肥孝	
文献研究（日本）	講義	4	非常勤講師	高木不二	
文献研究（東洋）	講義	4	非常勤講師	大澤正昭	
文献研究（西洋）	講義	4	非常勤講師	前沢伸行	
史料管理学	講義	4			国文学研究資料館における研修（集中講義形式）
日本史学研究指導Ⅰ			教授	森公章	
日本史学研究指導Ⅱ			教授	神田千里	
日本史学研究指導Ⅲ			教授	白川部達夫	
日本史学研究指導Ⅳ					本年度休講
日本史学研究指導Ⅴ			教授	大豆生田稔	
東洋史学研究指導Ⅰ			教授	高橋継男	
東洋史学研究指導Ⅱ			准教授	千葉正史	
東洋史学研究指導Ⅲ					本年度休講
西洋史学研究指導Ⅰ			教授	髙畠純夫	
西洋史学研究指導Ⅱ					本年度休講
西洋史学研究指導Ⅲ			教授	岡本充弘	

履修方法

1．指導教授の指示により、修了までに下記の①②を満たすこと。

①日本史学コースの者は「日本史学特論Ⅰ」～「日本史学特論Ⅴ」の５科目の中から、**異なる２科目、８単位以上**を履修･単位修得すること。
東洋史学コースの者は「東洋史学特論Ⅰ」～「東洋史学特論Ⅲ」の３科目の中から、**異なる２科目、８単位以上**を履修･単位修得すること。
西洋史学コースの者は「西洋史学特論Ⅰ」～「西洋史学特論Ⅲ」の３科目の中から、**異なる２科目、８単位以上**を履修･単位修得すること。

②日本史学コースの者は「日本史学演習Ⅰ」～「日本史学演習Ⅴ」の５科目の中から、**８単位以上**を履修・単位修得すること。
東洋史学コースの者は「東洋史学演習Ⅰ」～「東洋史学演習Ⅲ」の３科目の中から、**８単位以上**を履修・単位修得すること。
西洋史学コースの者は「西洋史学演習Ⅰ」～「西洋史学演習Ⅲ」の３科目の中から、**８単位以上**を履修・単位修得すること。

2．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

3．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された演習において行う）。

4．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

5．「演習」または「講義」は、同一科目を在学中２回以上履修･単位修得することができる。修得した単位は、修了要件の単位に充当する。

6．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

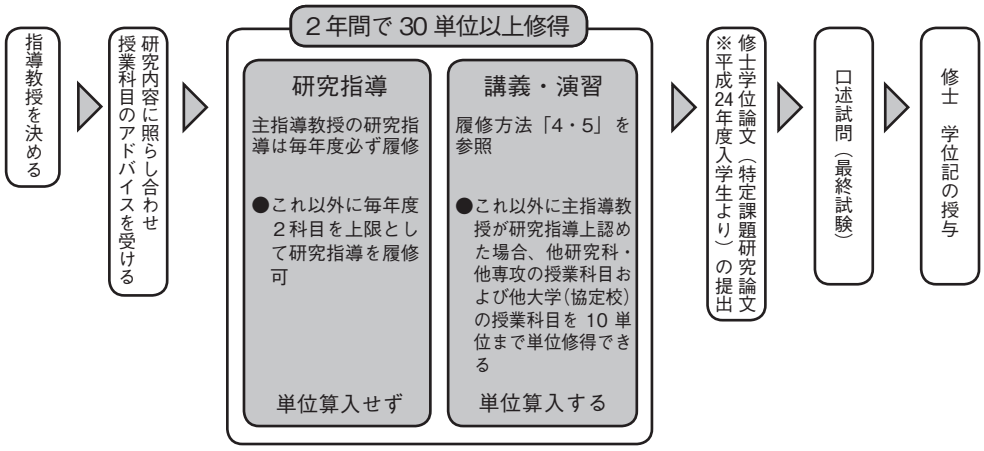
授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
日本史学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	森　公章	日本史学研究指導Ⅰと共通
日本史学特殊研究Ⅱ	講　義	4	教　授	神田千里	日本史学研究指導Ⅱと共通
日本史学特殊研究Ⅲ	講　義	4	教　授	白川部達夫	日本史学研究指導Ⅲと共通
日本史学特殊研究Ⅳ	講　義	4			本年度休講
日本史学特殊研究Ⅴ	講　義	4	教　授	大豆生田　稔	日本史学研究指導Ⅴと共通
東洋史学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	高橋継男	東洋史学研究指導Ⅰと共通
東洋史学特殊研究Ⅱ	講　義	4	准教授	千葉正史	東洋史学研究指導Ⅱと共通
東洋史学特殊研究Ⅲ	講　義	4			本年度休講
西洋史学特殊研究Ⅰ	講　義	4	教　授	高畠純夫	西洋史学研究指導Ⅰと共通
西洋史学特殊研究Ⅱ	講　義	4	非常勤講師	堀越宏一	
西洋史学特殊研究Ⅲ	講　義	4	教　授	岡本充弘	西洋史学研究指導Ⅲと共通
日本史学研究指導Ⅰ			教　授	森　公章	
日本史学研究指導Ⅱ			教　授	神田千里	
日本史学研究指導Ⅲ			教　授	白川部達夫	
日本史学研究指導Ⅳ					本年度休講
日本史学研究指導Ⅴ			教　授	大豆生田　稔	
東洋史学研究指導Ⅰ			教　授	高橋継男	
東洋史学研究指導Ⅱ			准教授	千葉正史	
東洋史学研究指導Ⅲ					本年度休講
西洋史学研究指導Ⅰ			教　授	高畠純夫	
西洋史学研究指導Ⅱ					本年度休講
西洋史学研究指導Ⅲ			教　授	岡本充弘	

履修方法

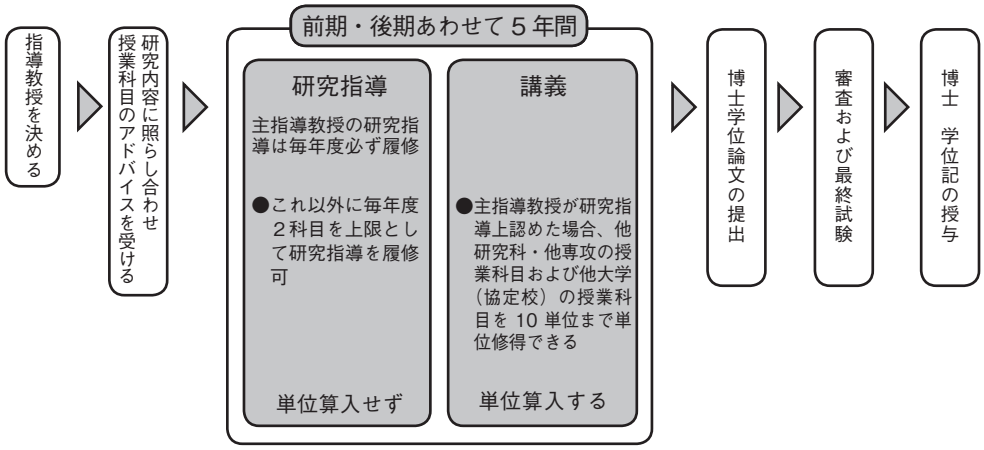
1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**
4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。

教育学専攻

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



教育学専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
学校教育研究特殊講義	講義	4	教授	斎藤里美	教育学研究指導Ⅳと共通
学校教育研究演習	演習	4			本年度休講（隔年開講）
教育学説研究特殊講義	講義	4	教授	米澤正雄	教育学研究指導Ⅶと共通（隔年開講）
教育学説研究演習	演習	4			本年度休講（隔年開講）
教育学説史研究特殊講義	講義	4	非常勤講師	北野秋男	
比較教育史演習	演習	4			本年度休講
発達障害児教育研究特殊講義	講義	4	教授	宮﨑英憲	
発達障害児教育研究演習	演習	4	教授	宮﨑英憲	教育学研究指導Ⅵと共通
発達障害児臨床心理研究特殊講義	講義	4	教授	緒方登士雄	教育学研究指導Ⅱと共通
学習指導論特殊講義	講義	4	教授	栗原久	教育学研究指導Ⅴと共通
学習指導論研究演習	演習	4	教授	山﨑準二	教育学研究指導Ⅷと共通
心理査定法特殊講義	講義	4			本年度休講
臨床教育心理学特殊講義	講義	4			本年度休講（隔年開講）
臨床教育心理学研究演習	演習	4	教授	清水直治	教育学研究指導Ⅲと共通（隔年開講）
臨床教育心理治療法特殊講義	講義	2	教授	篠崎信之	半期科目（後期開講）教育学研究指導Ⅸと共通
カウンセリング実習	演習	2	教授	篠崎信之	半期科目（前期開講）教育学研究指導Ⅸと共通
心理発達学特殊講義	講義	4	非常勤講師	瀧澤利行	集中講義（前期・後期開講）
心理適応論特殊講義	講義	4			本年度休講
心理適応論研究演習	演習	4			本年度休講（隔年開講）
学習心理学特殊講義	講義	4			本年度休講（隔年開講）
生徒指導・進路指導特殊講義	講義	2	非常勤講師	渡辺弥生	半期科目（後期開講）集中講義
生涯学習の研究特殊講義	講義	4			本年度休講（隔年開講）
生涯学習計画の研究演習	演習	4			本年度休講（隔年開講）
教育社会学研究特殊講義	講義	4			本年度休講
女性学の研究演習	演習	4	非常勤講師	内藤和美	
生活文化研究特殊講義	講義	4	非常勤講師	上田幸夫	
生活文化研究演習	演習	4			本年度休講
教育行財政学特殊講義	講義	4	教授	藤本典裕	教育学研究指導Ⅹと共通（隔年開講）
教育行財政学研究演習	演習	4			本年度休講（隔年開講）
授業分析論特殊講義	講義	2	教授	桂直美	半期科目（前期開講）教育学研究指導Ⅺと共通
音楽科教育研究演習	演習	2	教授	桂直美	半期科目（後期開講）教育学研究指導Ⅺと共通
環境教育論特殊講義	講義	2	教授	寺木秀一	前期開講
理科教育研究演習	演習	2	教授	寺木秀一	後期開講
国語科教育研究演習	演習	2	准教授	幸田国広	後期開講
算数・数学科教育研究演習	演習	2	准教授	長谷川勝久	後期開講
図画工作・美術科教育研究演習	演習	2	准教授	北澤俊之	後期開講
社会科教育研究演習	演習	2	非常勤講師	桐谷正信	前期開講
比較教育史特殊講義	講義	2	准教授	須田将司	前期開講

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
教育文化論特殊講義	講　義	2	准教授	関　直規	後期開講
教育心理学特殊講義	講　義	2	准教授	金田茂裕	前期開講
教育相談学特殊講義	講　義	2	准教授	榎本淳子	後期開講
教育学研究指導Ⅰ			教授	矢口悦子	
教育学研究指導Ⅱ			教授	緒方登士雄	
教育学研究指導Ⅲ			教授	清水直治	
教育学研究指導Ⅳ			教授	斎藤里美	
教育学研究指導Ⅴ			教授	栗原　久	
教育学研究指導Ⅵ			教授	宮﨑英憲	
教育学研究指導Ⅶ			教授	米澤正雄	
教育学研究指導Ⅷ			教授	山﨑準二	
教育学研究指導Ⅸ			教授	篠崎信之	
教育学研究指導Ⅹ			教授	藤本典裕	
教育学研究指導Ⅺ			教授	桂　直美	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。
3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**
4．主指導教授が担当する「演習」は、在学中**２回（８単位）まで**履修・単位修得することができる（「講義」科目は、対象とはならない。ただし、主指導教授が「演習」を担当していない場合のみ、同教授が担当している「講義」科目について上記の「演習」と同様に取り扱う）。
5．上記⑷以外の「演習」または「講義」は､在学中**１回のみ**履修･単位修得（２単位または４単位）することができる。
6．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

特定課題研究論文について

本専攻では、平成24年度入学生より修士論文に代わるものとして、「特定課題研究論文」の提出を認めています。

卒業後、学校教員を志望する者で、大学院において「専修免許状」を取得し、かつ教員としての資質・力量の向上を図ろうとする者のために採る措置です。

また、「特定課題研究論文」とは、「特定の課題について、実践的に調査・研究した論文」のことをいいます。

基本的に、「特定課題研究論文」の選択は、入学後、指導教員と相談の上、決定します。また、その後の研究の進展をみながら、指導教員との相談により、変更することを認めます。

「特定課題研究論文」の様式、提出スケジュール等は、修士論文に準じます。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
教育学特殊研究Ⅰ	講義	4			本年度休講
教育学特殊研究Ⅱ	講義	4	教授	米澤正雄	教育学研究指導Ⅱと共通
教育学特殊研究Ⅲ	講義	4	教授	山﨑準二	教育学研究指導Ⅲと共通
教育学特殊研究Ⅳ	講義	4	教授	清水直治	教育学研究指導Ⅳと共通
教育学特殊研究Ⅴ	講義	4	教授	斎藤里美	教育学研究指導Ⅴと共通
教育学特殊研究Ⅵ	講義	4	教授	篠崎信之	教育学研究指導Ⅵと共通
教育学特殊研究Ⅶ	講義	4	教授	緒方登士雄	教育学研究指導Ⅶと共通
教育学特殊研究Ⅷ	講義	4	教授	藤本典裕	教育学研究指導Ⅷと共通
教育学研究指導Ⅰ			教授	矢口悦子	
教育学研究指導Ⅱ			教授	米澤正雄	
教育学研究指導Ⅲ			教授	山﨑準二	
教育学研究指導Ⅳ			教授	清水直治	
教育学研究指導Ⅴ			教授	斎藤里美	
教育学研究指導Ⅵ			教授	篠崎信之	
教育学研究指導Ⅶ			教授	緒方登士雄	
教育学研究指導Ⅷ			教授	藤本典裕	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

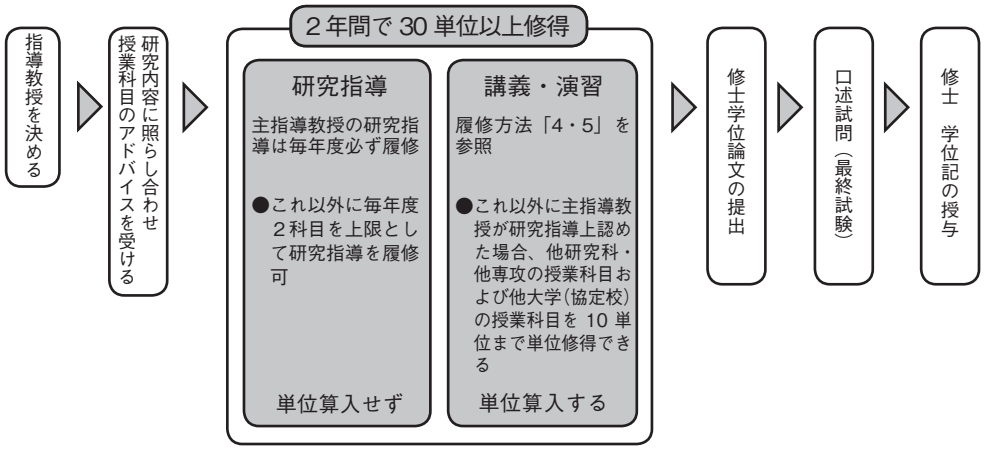
2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

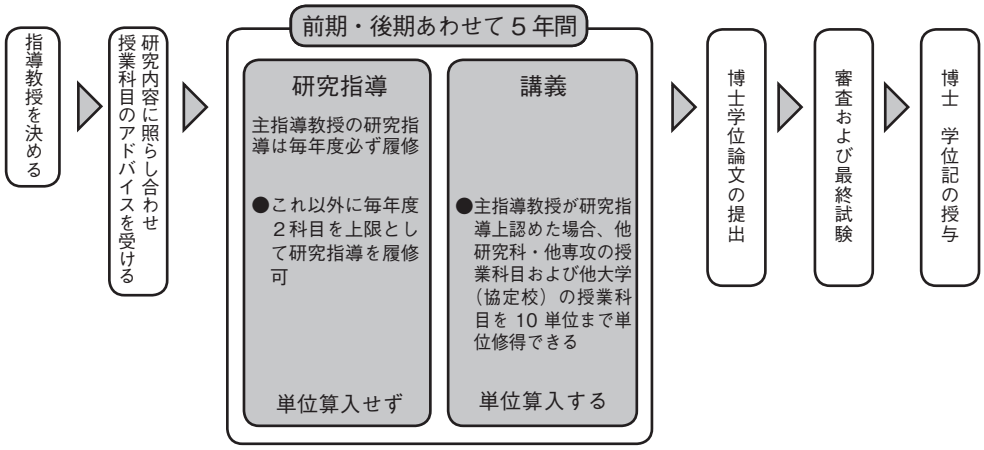
4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。

英語コミュニケーション専攻

前期課程　履修の流れ



後期課程　履修の流れ



英語コミュニケーション専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
英語文法分析演習	演習	4	教授	鈴木雅光	英語文法分析研究指導と共通
日英対照言語論演習	演習	4	非常勤講師	エリス俊子	
語用論演習	演習	4	教授	高橋雄範	語用論研究指導と共通
翻訳・通訳論演習	演習	4	非常勤講師	エリス俊子	
異文化コミュニケーション	講義	4	非常勤講師	フィリップ ローレス	
スピーチコミュニケーション	講義	4	准教授	迦部留 チャールズ	スピーチコミュニケーション研究指導と共通
英語文学・英語文化	講義	4	教授	倉田雅美	英語文学・英語文化研究指導と共通
テクスト理論	講義	4	教授	竹野谷 みゆき	テクスト理論研究指導と共通
グローバル英語教育	講義	4	教授	宇田川晴義	グローバル英語教育研究指導と共通
英語コミュニケーション教育	講義	4	教授	中鉢惠一	英語コミュニケーション教育研究指導と共通
英語文法分析研究指導			教授	鈴木雅光	
日英対照言語論研究指導					本年度休講
語用論研究指導			教授	高橋雄範	
翻訳・通訳論研究指導			准教授	迦部留 チャールズ	
異文化コミュニケーション研究指導					本年度休講
スピーチコミュニケーション研究指導			准教授	迦部留 チャールズ	
英語文学・英語文化研究指導			教授	倉田雅美	
テクスト理論研究指導			教授	竹野谷 みゆき	
グローバル英語教育研究指導			教授	宇田川晴義	
英語コミュニケーション教育研究指導			教授	中鉢惠一	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2．「研究指導」は、年度毎に２科目（主指導教授１名･副指導教授１名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる。
3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**
4．主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中**２回（８単位）まで**履修・単位修得することができる（「研究指導」と共通して開講されているもので、１科目のみが対象となる）。
5．上記４．以外の「演習」または「講義」は、在学中**１回のみ**履修・単位修得（４単位）することができる。
6．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職　名	担当教員	備　考
英語文化特殊研究	講　義		教　授	倉田雅美	英語文化研究指導と共通
英語構造分析特殊研究	講　義		教　授	鈴木雅光	英語構造分析研究指導と共通
日英対照言語学特殊研究	講　義				本年度休講
テクスト理論特殊研究	講　義		教　授	竹野谷　みゆき	テクスト理論研究指導と共通
英語コミュニケーション特殊研究	講　義		准教授	迦部留　チャールズ	英語コミュニケーション研究指導と共通
グローバル英語教育特殊研究	講　義		教　授	宇田川　晴義	グローバル英語教育研究指導と共通
語用論特殊研究	講　義		教　授	高橋雄範	語用論研究指導と共通
英語文化研究指導			教　授	倉田雅美	
英語構造分析研究指導			教　授	鈴木雅光	
日英対照言語学研究指導					本年度休講
テクスト理論研究指導			教　授	竹野谷　みゆき	
英語コミュニケーション研究指導			准教授	迦部留　チャールズ	
グローバル英語教育研究指導			教　授	宇田川　晴義	
語用論研究指導			教　授	高橋雄範	

履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．「研究指導」は、年度毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修･単位修得（０単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。

3．**主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。**

4．本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は１回のみ単位修得できる）。